名久井農業高校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

全日制の課程　生物生産科、環境システム科

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）

地域課題の解決や環境保全に向けた、企業等との共同研究を推進し、農業のグローバル化等に対応できる専門性と地域に貢献する態度を養うとともに、異年齢交流や社会奉仕活動を通して、責任感を養い、広く生命を尊重する心を持った、社会の健全で持続的な発展を担う人財を育成します。

スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な３つの方針）

【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】

次のような資質・能力を育成します。

○農業教育を通じて、地域社会・産業の持続可能な発展に貢献できる資質・能力を育成します。

○プロジェクト活動を通じて、生涯にわたり社会の変化に対応できる課題解決能力を育成します。

○地域交流活動を通じて、社会で活かせる主体性や協調性、柔軟性等を育成します。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】

次のような教育活動を実施します。

○地域社会・産業の発展に貢献できるようにするため、野菜・果樹・施設園芸の経営や食品加工・販売に関する農業の知識・技能及び、設備・施設制御に関する工業の知識・技能を習得するとともに、資格取得にも繋がる実学的な学習を展開します。

○課題解決学習の手法を生涯にわたって活かせるようにするため、地域の関係機関と連携したプロジェクト活動を展開すると共に、外部の専門家から評価・助言を得る機会として各種コンクール・コンテストへの応募を奨励します。

○社会で活かせる主体性や協調性、柔軟性等を身に付けさせるため、異年齢交流活動や社会奉仕活動などの体験型地域交流活動を積極的に展開します。

【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】

次のような生徒を求めています。

○農業のスペシャリストを目指し、意欲的に取り組む生徒を求めます。

○農業及び農業関連産業に興味を持ち、地域貢献のために意欲的に取り組む生徒を求めます。

○地域交流や伝統文化の継承など、本校の様々な特色ある活動に興味を持って、他者と協働して積極的に取り組む生徒を求めます。